

事業シート（概要説明書）						
事業名	津山老人福祉センターバス運行事業		担当部名	環境福祉部		
			担当課名	高齢介護課		
事業開始年度	昭和49年度					
根拠法令等						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理（委託先：両備ホールディングス㈱両備バスカンパニー津山観光センター） <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
事業概要	目的 (何のために)	津山老人福祉センター利用者(高齢者講座・ミニデイサービスの参加者、老人クラブ等)の交通手段を確保するため				
	対象 (誰・何を対象に)	津山老人福祉センター利用者(高齢者講座・ミニデイサービスの参加者、老人クラブ等)				
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講座等の開催日(及び時間)に合わせて、定期的にバスを運行。</li> <li>・各地区老人クラブ等の団体利用時に、随時にバスを運行。</li> </ul>				
	事業の必要性	当初より、津山老人福祉センターの利用者(旧市内)の交通手段の確保のために運行している。				
【支出】		H19決算	H20決算	H21決算	H22予算	
事業費（直接経費）		千円	5,976	5,976	5,806	5,292
うち	嘱託職員・臨時職員等	従事者数	人			
		概算人件費	千円			
人件費	正規職員	従事者数	人	0.1	0.1	0.1
	(平均給与750万円換算)	概算人件費	千円	750	750	750
総事業費		千円	6,726	6,726	6,556	6,042
【収入】		H19決算	H20決算	H21決算	H22予算	
国・県からの補助金等		千円				
使用料・手数料		千円				
地方債		千円				
その他（ ）		千円				
【収支】市の負担額（一般財源）		千円	6,726	6,726	6,556	6,042

事業シート（概要説明書）						
平成22年度 事業費内訳	内 容				金 額	
	バス運行委託料				5,292	千円
	-----					千円
	-----					千円
事業目的達成の ための活動指標	活 動 指 標 名	単 位	H20年度実績	H21年度実績	H22年度見込	
	利用者数	人	4,769	4,488	4,500	
単位当たりコスト	5,806 (千円) / 4,488 (人) = 1,293 (円) 【 H21年度実績 人件費を除く 】					
目指す成果 (今後どのように したいか)	施設が現形態で存続していく限り、この事業を存続していきたい。					
事業の 自己評価	事業目的の 達成状況	交通手段の少ない老人福祉センターの開設当時には、高齢者が津山老人福祉センターを利用するためにバスを運行する必要があった。初期の目的はほぼ達成されていると考えるが、依然として利用者の足の確保は必要である。				
	今後の事業 の方向性 (課題・改善 計画等)	利用者負担の考えを導入していきたい。(道路運送法との関連)				
比較参考値 (他自治体における 類似事業の例など)	津山市統計書より S47.12.31現在：人口 76,880人 高齢者 7,741人 高齢化率 10.06% H22.10.1現在：人口 108,123人 高齢者 26,952人 高齢化率 24.93% 【高齢者S47の約3.5倍】 公民館数 S47：12 H22：22 自動車(乗用車、軽自動車、自動二輪車等)登録台数 S47 32,153台 H20 100,960台 【S47の約3倍】					
特記事項 (事業の沿革等)						